



水泳学習， 始まりました

6月9日(日)に例年より4日遅れで梅雨入りが発表されましたが，6月12日(水)，好天に恵まれプール開きの日を迎えました。本校のプールは，平成2年竣工，25m×5コース，FRP製です。最深部(写真⇒⇐)は**1.1m**，最浅部(写真手前と奥)は**0.9m**，プールサイドは**コンクリート張り**です。「プールサイドを走るな！」今も厳しく注意するのは，濡れたコンクリート上を，水着姿で走っての転倒は，大けがにつながるからです。



「水泳は何の学習でしょう？」毎年夏になると，クラスの児童に問いかけました。「泳げるようになるんでしょ」「速く泳ぐ」「ようけ(距離長く)泳ぐ」と児童。私は，そんな当たり前の答えを求めて問うたのではありません。泳げるようになった，力を伸ばした児童の姿に答えはあります。

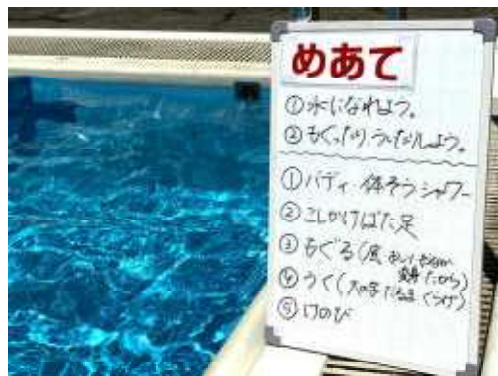
【成長する児童の姿】

- 水泳道具を忘れません。
- プールカードを忘れません。
- 体調不良で見学しません。
- 前夜は十分な食事を取って早めに寝ています。
- 水着のひもをリボン結びで固く結べます。
- ゴーグルがピタッと顔に当たるように調整できます。
- 指示を聞く，体を動かすの区別がついています。
- ゴーグルをピタッとつけてスタート位置につきます。

【その姿の意義】

- ・学習に興味をもつ
- ・自分で準備する
- ・周囲の協力を得る
- ・体調を整える
- ・自分でできることを増やす
- ・話が聞ける
- ・計画的に取り組む

本校の水泳学習に「自由」の時間（児童のイメージでは，何でも自由にできる時間）はありません。水泳学習では，水の中での様々な動きにつながる“おにごっこ”や“水中ジャンケン”などの，日常の遊びの名称の動作が使われますが，遊びではありません。学習にはねらいがあります。授業に教師の意図のない「自由」なんて変ですし，何より危険です。



プールサイドには，その日の授業の流れをホワイトボードに示しています(➡ 写真)。一斉学習での水泳学習で，一人ひとりの異なる課題解決へのヒントとしています。泳力向上も，心身の成長をめざしています。